

身体科病棟入院患者様への精神科からの働きかけを行っています

コンサルテーション-リエゾン精神医学

身体疾患治療のなかで起こる様々な精神医学的な問題に対して、医療スタッフと精神科医が協働して診療に当たることを「コンサルテーション-リエゾン精神医学」または、単に「リエゾン精神医学」と呼びます。「リエゾン」とは、フランス語で「連携、橋渡し、つなぐ」を意味します。主な活動は、

- ① 身体疾患で入院中に起こる、せん妄、抑うつ、不眠などの精神症状への対応
- ② 精神疾患や認知症の患者さんへのサポート
- ③ アルコール関連問題
- ④ うつ病などの精神疾患と身体疾患の鑑別
- ⑤ 自殺企図後の治療

などで、身体科と緊密な連携を取りながら診療を行っています。まだ常勤の精神科医がいる総合病院は少なく、精神科的な問題を持った患者の身体治療を断られたり、一般水準の治療が受けられなかったりすることがあります。当院には常勤精神科医が4人おり、リエゾン活動にあたっています。精神科的問題を抱えた患者さんでお困りの時は、ぜひご相談ください。

【 担当 : 精神科 大城将也 】

特集

CT 装置更新のお知らせ

菊川市立総合病院診療放射線科では、CT 装置の更新を行い SIEMENS 社 SOMATOM go.Top を導入しました。この CT 装置は従来の装置と比べ、画質・機能・操作性・検査全てにおいて格段に向上しています。

SOMATOM go.Top の特徴

・簡便かつスムーズな操作性

CT 装置から独立したタブレット端末とリモートコントローラーで遠隔操作が可能となりました。被検者情報の選択から、ポジショニング、スキャンなどすべての操作をタブレット端末とリモートコントローラーから行うことができます。タブレット端末、リモートコントローラーを使用することで被験者に触れることなく検査することもでき、コロナ禍の現在では極めて有用な機能と言え、この機能によりコロナ患者の検査も安全かつスムーズに行えます。



装置外観



タブレット

・被曝量の低減

Sn（スズ）を主成分とする「Tin filter」を使用することにより画像化に寄与しないX線低エネルギー成分を大幅にカットし被曝低減が可能です。この他にも患者毎の体格や検査内容によって自動的に管電流・管電圧の最適化を行い、最新のAEC機能により水晶体や甲状腺、乳腺といった放射線感受性の高い体表臓器の被曝を低減させることが可能となりました。また逐次近似画像再構成法という機能を用いることによって低線量撮影であってもノイズやアーチファクトの影響を受けにくい検査が可能となります。

・造影剤使用量の低減

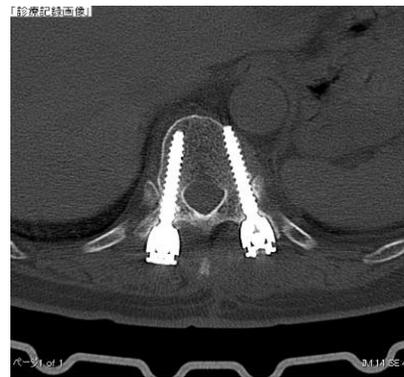
SOMATOM go.Topには造影剤低減で重要となる低管電圧撮影において、最大825 mAの管電流出力を可能とするX線管球が搭載されています。このため従来より少ない造影剤の量でも高いコントラストを得ることが可能となり、腎機能の悪い患者様や副作用のリスクが高い患者様にも最低限の造影剤量で検査が行えるように取り組んでいきます。

・アーチファクトの低減

被曝低減にも寄与するTin filterと最新のソフトウェアの組み合わせにより金属の種類、部位毎にアーチファクト低減も可能となっております。



以前の装置



導入装置

今後も被曝量の低減に努め最善な画像を提供できるよう取り組んでいきたいと考えております。この機にCT検査の委託を依頼していただければ幸いです。

詳細につきましては診療放射線科にお問い合わせください。

【担当：診療放射線科 鴨川・鈴木】

○診療実績

項目	7月	8月
紹介患者数	261人	272人
逆紹介患者数	227人	288人
1日当り入院患者数	172.0人	168.3人
1日当り外来患者数	436.8人	435.7人
病床利用率	66.2%	64.7%
救急搬送件数	91件	104件

○受託検査実績

項目	7月	8月
CT	31件	21件
MRI	42件	32件
超音波検査	14件	14件
その他検査	9件	11件

【発行】

菊川市立総合病院 地域医療支援課 〒439-0022 静岡県菊川市東横地 1632

TEL：0537-35-2344 Eメール：renkei@kikugawa-hosp.jp

FAX：0537-35-2843 ホームページ：http://www.kikugawa-hosp.jp



©菊川市